潮来市立延方小学校(NOBUKATA　ELEMENTARY　SCHOOL) 学校便り　2025.11.10発行

第11号
児童数 314名
(男182名女132)

のぶっ子

〒311-2442
潮来市小泉2090

Tel :0299-66-2076
Fax:0299-66-4692
URL:https://www.itako-school.jp/nobukata-el/

みんなが主役・みんなで学ぶ学校

あいことば：**あいあい(I.I)大作戦**　スローガン：**やさしく かしこく たくましく**

２年生が潮来市立図書館を訪問しました。説明をよく聴いて、みんなで使う街の施設についてたくさん学ぶことができました。

昨年度、理科専科の窪谷先生が中心となって取り組んだ「車づくり」の授業が、日産財団理科教育賞の優秀賞を受賞しました。

PTA 親睦バレーボール大会が、学年総当たりで行われました。大熱戦の末、６年生と４年生が、代表として市の大会に出場しました。

就学時健診を行いました。未来の延小を担う元気いっぱいのお友達が来校しました。元気に挨拶ができて素晴らしかったです。

２年生が町探検に行ってきました。色々な事業所で、説明を受けたり、体験させていただいたりするなど、多くの方にご協力頂きました。

３年生が鹿島特別支援学校を訪問しました。ダンスを踊ったり、レクリエーションで楽しく活動したりして、交流を深めることができました。

６年生がアントラーズ食育キャラバンで、楽しく運動したり、食事の大切さについて講義を聞いたりして、有意義な時間を過ごしました。

小中連携あいさつ運動を行いました。少し肌寒い陽気でしたが、中学生や青少年相談員さん達と元気に挨拶を交わしました。

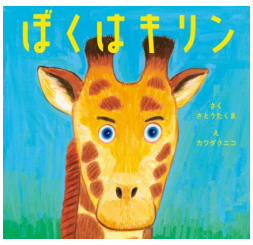
６年生が講師を招いて、薬物防止教室を行い、薬物の恐ろしさを知りました。一人一人がかけがえのない命を大切にして欲しいと思います。

「ぼくはキリン」という絵本を読みました。作者は、プロバスケットボール選手のさとうたくまさんです。さとうさんは、全国の幼稚園など約４０００の施設にこの絵本を寄贈し、読み聞かせやバスケットボールの実演を行って、子どもたちを楽しませています。

さて、物語の主人公は、題名の通りキリンくんです。キリンくんは運動があまり得意ではなく、どうぶつたちのあそびの輪に入ることができません。「自分には得意なことがない。」と感じていたのです。

あるとき、どうぶつたちのあいだでバスケットボールが流行ります。キリンくんは最初、そのあそびに加わることをためらっていました。しかし、試合に出る予定だったサイくんが急に来られなくなり、チンパンジーくんが「キリンくん、かわりに出てくれないかな？」と声をかけます。

キリンくんは勇気を出して試合に出ました。すると、バスケットボールを通して、自分の「長い首」など、これまで気づかなかった“自分ならではの力”を発揮できることに気づきます。その経験を通して、少しずつ「自分を好きになる」とともに、悩んでいる友だちにも寄り添えるようになっていきます。



作者のさとうさんも、インタビューで、『小さいころからお父さんに「何かを得たいなら、まず自分にできることを人に与えなさい」と教えられていた。「背が高いことを生かせない。」と思っていた時期もあったけれど、まわりの人の励ましや、受験に落ちたり失敗したりした経験を通して、「自分の特性を生かして人の役に立ちたい。」と考えるようになった。』と話しています。また、子ども達に『自分がワクワクすることを続けていってほしい。』というメッセージも伝えています。

私も児童のみなさんに、自分の好きなことやワクワクすること、人の役に立てることを見つけて、こつこつと取り組んでいってほしいと思います。